

2

学習

握手

学習のねらい

- ① 登場人物の状況や言動から、人物像を読み取る。
- ② 登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について考える。

確認

文章の流れをつかもう

「握手」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。①～⑥にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

「わたし」はルロイ修道士に呼び出され、上野の西洋料理店で会う。

回想1

天使園時代、ルロイ修道士の握手で腕がしびれたこと。

再会したルロイ修道士は、

① の手を握るようにそつと握手をした。

回想2

日本で潰されたルロイ修道士の人さし指のこと。

② として謝る「わたし」を、ルロイ修道士はたしなめる。

「わたし」は、ルロイ修道士の食欲がないことに気づく。

ルロイ修道士は、天使園で「わたし」をぶつたかを気にする。

回想3

無断で東京へ行ったこと。

ルロイ修道士は、「困難は③ せよ」という言葉を贈る。

「わたし」はルロイ修道士が「④ のいとまごい」をしていると感じる。

ルロイ修道士は、死ぬのは怖くないと言う。

別れ際、「わたし」はルロイ修道士が「⑤」と言うほどしっかりと握手。

まもなく、ルロイ修道士は、なくなった。

ア 分割 イ この世 ウ 痛い エ 病人 オ 日本人

確認

主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

「わたし」はルロイ修道士と上野の西洋料理店で久しぶりに会う。ルロイ修道士は「わたし」が少年時代を過ごした児童養護施設の園長であった。母国のカナダへ帰る挨拶のために呼び出したと言うが、握手する手に昔の力強さがでない。オムレツを食べ始めたが食欲がないようだ。生きる上で大切なことを教えたり、昔、ひどいことをしていたら謝りたいと言ったりするルロイ修道士に、「わたし」は彼が重い病気なのではないかと感じる。上野駅で別れるとき、「わたし」は、ルロイ修道士の手をとってしっかりと握った。まもなく、彼はなくなった。

ア 敬愛する人物に寄せる深い感謝と哀惜の念。

イ 辛い過去を思い起こした不快感と後悔の念。

ウ 孤独な都会生活の中で抱く寂寥と望郷の念。

参考資料

【作者紹介】

井上ひさし…一九三四年～二〇一〇年 山形県出身の小説家・劇作家・放送作家。

代表作は小説「ブンとファン」「四十一番の少年」「吉里吉里人」、戯曲「父と暮せば」、テレビ「ひよっこりひよっちゃん島」。

漢字の読み書き

次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- | | | |
|------------------------------------|-------------------|---------------|
| □ (1) 洗濯場 | □ (2) 穏やかな人柄 | □ (3) 鶏舎を見回る |
| □ (4) 爪を切る | □ (5) 開墾の苦勞 | □ (6) 監督官と話す |
| □ (7) 大日本帝国 | □ (8) 泥にまみれる | □ (9) 傲慢になる |
| □ (10) 迷った猫を捜す | □ (11) 冗談を言う | □ (12) 姓名を明かす |
| □ (13) 一周忌になる | □ (14) 良性の腫瘍 | □ (15) 葬式に行く |
| □ (16) 福祉関係のシセツ | □ (17) 何日かヤツカイになる | |
| □ (18) 病院にシユウヨウする | □ (19) 悩みを力カえる | |
| □ (20) ウデの筋肉を鍛える | □ (21) キミヨウな絵 | |
| □ (22) 厳しいカイリツ | □ (23) 怒りがバクハツする | |
| □ (24) 景色をナガめる | □ (25) 寒さでフルえる | |
| □ (26) 布を折りタタむ | □ (27) 戦後のヤミイチ | |
| □ (28) 伝統的なギシキ | □ (29) ヘイボンな生活 | |
| □ (30) 雑巾 <small>ぞうきん</small> をシボる | | |

重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

④	③	②	①
はばかり	脳裏	せわしい	達者
例文	例文	例文	例文
意味	意味	意味	意味
	幼い頃遊んだ野原の風景がふと脳裏に浮かぶ。	動作などが速い調子で続く様子。	彼女は達者な英語で通訳をした。
	差し障りがあるとして遠慮する。		

問題

次の各文の空欄に当てはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄に当てはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) 人目も ず、大口を開けて笑う。
- (2) 祖父は、木のつるを使い、 な手つきでかごを編んで見せた。
- (3) また同じ災難に遭うのではないかと不安が をよぎる。
- (4) 激しい雨の中を突き進む車のワイパーが 動く。

❖ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「呼び出したりして」とありますが、ルロイ修道士は、「わたし」

を呼び出した理由を何と説明していますか。次の□にあてはまる言葉を文章
中から探し、書き抜きなさい。

ことになったので

を言うため。

□(2) — 線②「彼の日本語には年季が入っている」とありますが、どういうこ

とですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 彼の日本語は古めかしく、昔風になっているということ。
イ 彼の日本語には、季節感が十分に入っているということ。
ウ 彼が長く日本語に親しみ、上手になっているということ。
エ 彼は、毎年決まった季節に日本語を勉強したということ。

--

□(3) — 線③「天使の十戒」がどのようなものを簡潔に表した言葉を、文章
中から探し、五字で書き抜きなさい。

□(4) — 線④「ルロイ先生とうっかり握手をすべからず」とありますが、なぜ
ですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(井上ひさし「握手」より)

(注) 修道士：キリスト教で、清貧・貞潔・服従の三つの誓いを立てて、修道院で修行

する男性。

万力：物をはさんで固定する道具。

聖人伝：キリスト教における聖人の伝記が書かれた書物。

読解のコツ

◎人物の言動を捉えて、人物像を読み取る。

人物像はまず、その言動からつかめます。会話文の言葉遣いは人物の印象を感覚的に伝えます。また、会話文から「行動」がわかることもあります。

↓学習のねらい①

「今度故郷へ帰ることになりました。カナダの本部修道院で畑いじりでもしてのんびり暮らしましょう。さよならを言うために、こうして皆さんに会って回っているんですよ。しばらくでした。」(本文6～8行目)

この会話文からだけでも、ルロイ修道士の人物像が浮かび上がって来ます。

言葉遣い……丁寧。親しみを示す。

↓穏やか。相手を尊重し

行動……さよならを言うために

↓愛情を持っている。

教え子たちに会って回っている。

↓教え子たちとの関係を

大事にしている。

人物像

30

ア ほかの先生全員とも握手させられてしまうから。
 イ 強く握られるので、手が痛くなってしまうから。
 ウ 印象が強すぎて、勉強する気分にならないから。
 エ 握手のあと、お説教をされる決まりがあるから。

□(5) ———線⑤「天使園に収容されたときの光景」が描かれた部分を文章の中から探し、初めと終わりの四字をそれぞれ書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

□(6) ———線⑥「顔をしかめる必要はなかった」とありますが、なぜですか。文章中の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

□(7) 「わたし」の回想の部分からうかがえるルロイ修道士は、どんな人柄ですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言葉遣いはいいのだが、暴力的な人柄。
 イ 弱い者を支配しようとする高圧的な人柄。
 ウ あたたく、頼りがいのありそうな人柄。
 エ 優しく物静かで、控えめにふるまう人柄。

❖ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

□(1) — 線①「こんなうわさ」の内容が書かれた部分を文章中から探し、初めと終わりの五字をそれぞれ書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

□(2) — 線②「日曜日は休ませてほしい」と申し入れたのはなぜですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 休日もなく厳しい労働を課せられて、体を壊す人がいたから。
イ 日本の人にカナダの進んだ文化や習慣を紹介しなかったから。
ウ 日本人が働き過ぎているので戒めてやるべきだと思ったから。
エ 信仰する宗教の戒律で、日曜日の労働を禁じられているから。

□(3) — 線③「左の人さし指を木づちで思い切りたたき潰した」とありますが、この結果、ルロイ修道士の左の人さし指の先は今どのような状態になっていますか。「爪が」に続く部分を「正常」という言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

爪が

□(4) — 線④「だから気をつけろ」にはどのような気持ちが込められていますか。次の□にあてはまる言葉を文章中から探し、三字で書き抜きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(井上ひさし「握手」より)

(注) 月火水木金金：戦前の日本の海軍で使われていた言葉で、土曜、日曜も返上して35
訓練に励むこと。戦時中に勤労礼賛の言葉として広まった。

25

30

読解のコツ

捉え、人間や社会について考える。

登場人物の生き方や考え方は、その人物の発言や行動から捉えます。また、
作者や他の人物による評言も手がかりになります。

↓学習のねらい②

ルロイ先生は、戦勝国の白人であるにもかかわらず敗戦国の子供のた
めに、泥だらけになって野菜を作り鶏を育てている。これはどういうこ
とだろう。
(本文17～19行目)

ここから「戦勝国・敗戦国にとらわれず、助けが必要な子供を養うことが
大切」というルロイ修道士の考え方が読み取れます。それが常識はずれであ
ることは、「これはどういうことだろう」という子供の疑問が表しています。
国という枠にはめず、偏見を持たずに人と接しようという考え方は、戦争の
反省から来たのかもしれませんが。

ルロイ先生がいつか

に仕返しをすることを恐れる気持ち。

□(5) ——線⑤「すぐ立ち消えになった」とありますが、その理由が書かれたひ
と続きの二文を文章中から探し、初めと終わりの五字をそれぞれ書き抜きな
さい。(句読点も字数に数えます。)

□(6) ——線⑥「右の人さし指をぴんと立てた」とありますが、ルロイ修道士が
この動作をするのはどのようなときですか。文章中の言葉を使って三十字以
内で書きなさい。

□(7) この文章中の最後の会話文から読み取れるのは、ルロイ修道士のどのよう
な考え方ですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 人間なら誰でも、日本人を代表してものを言っつてよいという考え方。
イ 人は本来、国籍の枠を超え、個人として存在するものだという考え方。
ウ 傲慢な人間だけが国を代表して発言することができるという考え方。
エ 国外に出たら、どこの国の人でも一様に外国人であるという考え方。

--

5

練習問題

握手 (3)

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「冗談じゃないぞ、と思った」とありますが、このときの「わたし」の気持ちとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 相手がふざけていることに腹を立てる気持ち。
- イ 相手が押しつけがましいのであきれられる気持ち。
- ウ 深刻な事態を感じ取って、不安に思う気持ち。
- エ 筋の通らない話をされ、納得できない気持ち。

□(2) — 線②「こうやっているとき」とはどのようなときですか。文章中から三十四字で探し、初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

□(3) — 線③「上川一雄」という姓名は、誰がつけたと考えられますか。次の□にあてはまる言葉を文章中から探し、書き抜きなさい。

天使園の

□(4) — 線④「捨て子は……増える」とありますが、そうなる理由を、文章中の言葉を使って四十字以内で書きなさい。

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

2点×9 18点

□(1) 「握手」は、亡き人となった□①の人物像を描き、□②と感謝、そして哀惜の念をつづった作品である。題名となっている「握手」は、その人物と□③との間で交わされたもので、□④の場面と、再会した場面と、別れの場面の三回にわたって描かれ、二人の□⑤の変化を象徴するものとなっている。

- ア 親心 イ 主人公 ウ 関係性 エ 後悔 オ 敬愛
- カ 家族 キ 恩師 ク 空想 ケ 性格 コ 初対面

□(2) 「握手」は、□①を児童養護施設で過ごした「わたし」が、その施設の□②であった人物と、□③の西洋料理店で再会する場面から始まる。二人の会話の合間に挟み込まれる□④を通して、施設での生活の様子や、登場人物の人柄がわかる構成になっている。

- ア 幼年時代 イ 少年時代 ウ 研修時代 エ 園長
- オ 支援者 カ 上野 キ 仙台
- ク 福岡 ケ 解説部分 コ 回想場面

2 次の文の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

- (1) 図形を分割する □(2) 遺言をのこす □(3) 時代遅れの代物
- (4) 鶏舎を造る □(5) 大日本帝国の時代 □(6) 洗濯場に行く
- (7) ソウシキを出す □(8) シュヨウを切除する □(9) カントク官の目
- (10) ドロを洗い流す □(11) イッシュウキの法事 □(12) オダやかな天気

3 次の文の空欄にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

2点×4 8点

- (1) 新しいことに対し □ こわがり、挑戦しないのはもったいない。
- (2) 問題解決のために □ に取り組んだ成果が出た。
- (3) 朝から晩まで畑仕事に □。
- (4) 体に □ 暑さになった。

- ア こたえる イ 奇妙 ウ 気前がいい
- エ 地道 オ 精を出す カ むやみに

4 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

50点

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(井上ひさし「握手」より)

15

10

5

- (1) — 線①「死ぬのは怖くありませんか」とありますが、「わたし」がこの質問をすることをそれまでためらっていたことは、どの表現からわかりますか。文章中から探し、八字で書き抜きなさい。

5点

- (2) — 線②「ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいだ」とありますが、なぜですか。最も適切なもの次から一つ選び、記号で答えなさい。

5点

- ア 「わたし」が自分と違う考え方をするので、むっとしたから。
 イ もう汽車が出る時間なのに、難しい質問をされて困ったから。
 ウ 隠したつもりだったことを悟られていて、きまりが悪いから。
 エ 修道士としては、死ぬのが怖いと言わなければならないから。

- (3) — 線③「本当に天国がありますか」と聞かれたのに対し、ルロイ修道士はどのように話しましたか。文章中の言葉を使って書きなさい。

15点

- (4) — 線④「わかりましたと答える代わりに、わたしは右の親指を立て」とありますが、このような思いの伝え方を、文章中ではどう呼んでいますか。一語を書き抜きなさい。

5点

- (5) — 線⑤「ルロイ修道士の手をとって……激しく振った」とありますが、これについて答えなさい。

- A このときの「わたし」の握る力が強かったことは、どのようなことからわかりますか。文章中の言葉を使って書きなさい。

10点

- B このときの「わたし」の気持ちとして最も適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

各5点 10点

- ア ルロイ修道士に、早く汽車に乗って帰ってほしい。
 イ ルロイ修道士と十分話したので、思い残しはない。
 ウ ルロイ修道士に、深い感謝と尊敬の念を伝えたい。
 エ ルロイ修道士と別れなければならないのがつらい。